

就任ご挨拶	沖縄及び北方対策担当大臣 細田 博之	①
プロフィール	大臣 細田博之 / 副大臣 米田健三 / 政務官 大村秀章	②
巻頭言		
今・昔の普天間	～新しいまちづくりを目指して～	③
	東京大学大学院教授 清水 英 範	
その1		
うちなーのみじ	～水資源開発と流域連携について～	④
特集		
その2		
「ワン切り」に注意！		⑧
① 11月は下請取引適正化推進月間です		⑩
② 管内経済情勢報告		⑪
③ 21世紀土地改良区創造運動について		⑫
④ 伝統的工芸品月間推進国民会議全国大会		⑬
⑤ 守ろう地球オゾン層		⑭
⑥ 「沖縄美ら海水族館」オープン！		⑮
⑦ 一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー）に係る 緊急調整地域の限定について		⑯
トピックス 【局の動き】	細田博之沖縄及び北方対策担当大臣が就任後初来沖 「松食い虫ゼロ大作戦」始まる 平成14年度経済産業省所管統計調査功績者表彰状の伝達 平成14年度全国道路標識週間の実施 「第11回アジア地域土木研究所長等会議」開催 平成14年度船員労働安全月間の実施	⑱
随筆・提言		
メディア活用戦略も一考		⑳
	琉球朝日放送報道制作局 次長 仲 里 雅 之	
お知らせ / 編集後記		㉑



【表紙解説】

玉陵は、一五〇一年、尚眞王が父尚円王の遺骨を見上森陵から改葬するために築かれ、第二尚氏王統の陵墓となりました。墓室は三つに分かれ、中央の中室は洗骨前の遺骸を安置する部屋、創建当初の東室（写真左）は洗骨後の王と王妃、西室には墓前の庭の玉陵碑に記されている尚眞王などの限られた家族が葬られました。全体のつくりは、

当時の板敷き屋根の宮殿を表した石造建造物で、墓域は二四四二平米になっています。沖縄戦で大きな被害を受けましたが、一九七四年から三年余りの歳月をかけ修復工事が行われ、往時の姿を取り戻し、二〇〇〇年十二月二日、首里城などとともにユネスコの世界遺産に登録されました。

沖縄美ら海水族館シリーズ①

建築面積：10,000m²
延床面積：19,000m²
全体水層容量：約10,000t
最大水層容量：約 7,500t

